

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3636957号
(P3636957)

(45) 発行日 平成17年4月6日(2005.4.6)

(24) 登録日 平成17年1月14日(2005.1.14)

(51) Int. Cl.⁷A 4 7 F 5/11
A 4 7 F 7/00

F I

A 4 7 F 5/11
A 4 7 F 7/00

L

請求項の数 2 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2000-65503 (P2000-65503)	(73) 特許権者	504180206
(22) 出願日	平成12年3月9日(2000.3.9)		株式会社カネボウ化粧品
(65) 公開番号	特開2001-252155 (P2001-252155A)	(74) 代理人	100079382
(43) 公開日	平成13年9月18日(2001.9.18)		弁理士 西藤 征彦
審査請求日	平成14年5月28日(2002.5.28)	(72) 発明者	成田 桃子
			東京都港区海岸3丁目20番20号 鐘紡株式会社内
		審査官	宮崎 敏長

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 陳列用具

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

吊り下げ具を有する平板状の背板と、この背板に固定されこの背板とともに箱状収容部を形成する収容部形成部材とを備えた陳列用具であって、上記箱状収容部の底板を背板の下端部より上側に配設し、上記箱状収容部の底板の左右両側面からそれぞれ、下方に折り曲げ自在な突片を突設し、上記背板の吊り下げ具を被吊り下げ体に吊り下げる吊り下げ態様と、上記突片を下方に折り曲げこの折り曲げた突片の下端部を被載置面に当接させて陳列用具を支受する支受態様とのいずれかの態様を選択しうるように構成したことを特徴とする陳列用具。

【請求項2】

上記吊り下げ具が、折り曲げ自在な金属製の帯状薄板を用いて作製されている請求項1記載の陳列用具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、化粧品(テスター用化粧品等を含む)等の各種の陳列品を店頭等に陳列する陳列用具に関するものである。

【0002】

【従来技術】

従来から、口紅等の各種化粧料を店頭等に陳列する場合には、図12に示すような陳列台

4 1 がよく用いられている。この陳列台 4 1 は、ひな壇形に形成されており、各段の上面に多数のテスター品挿通孔 4 2 が穿設されている。そして、サンプル保持体 4 3 の下側に口紅等のテスター品（試供品）4 4 が保持され、上側に色見本ダミー 4 5 が取着されたテスター化粧品 4 6 を多数（各色ごとに）用意し、上記テスター品挿通孔 4 2 に、上記テスター化粧品 4 6 の下部（テスター品 4 4 の部分）を挿通させて陳列台 4 1 上に載置し、多数並べて陳列するようにしている。

【 0 0 0 3 】

一方、同じ店頭等でも、他の化粧料の陳列スペースとの関係で、上記テスター化粧品 4 6 を吊り下げ用透明ケース等（図示せず）に収容し、壁面等に吊り下げて陳列することがよくある。また、陳列の形態を変えて顧客の注意をひくこともよく行われている。このため、上記のような陳列台 4 1 や吊り下げ用透明ケース等がそれぞれ製作されている。

10

【 0 0 0 4 】

【 発明が解決しようとする課題 】

しかしながら、上記のような陳列台 4 1 や吊り下げ用透明ケース等を用いる場合には、これらを別々に製作しなければならず、製作費が高価になり、コストアップにつながる。

【 0 0 0 5 】

本発明は、このような事情に鑑みなされたもので、製作費が非常に安価な陳列用具の提供をその目的とする。

【 0 0 0 6 】

【 課題を解決するための手段 】

上記の目的を達成するため、本発明の陳列用具は、吊り下げ具を有する平板状の背板と、この背板に固定されこの背板とともに箱状収容部を形成する収容部形成部材とを備えた陳列用具であって、上記箱状収容部の底板を背板の下端部より上側に配設し、上記箱状収容部の底板の左右両側面からそれぞれ、下方に折り曲げ自在な突片を突設し、上記背板の吊り下げ具を被吊り下げ体に吊り下げる吊り下げ態様と、上記突片を下方に折り曲げこの折り曲げた突片の下端部を被載置面に当接させて陳列用具を支受する支受態様とのいずれかの態様を選択しうるように構成したという構成をとる。

20

【 0 0 0 7 】

すなわち、本発明の陳列用具は、吊り下げ具を有する平板状の背板と、この背板に固定されこの背板とともに箱状収容部を形成する収容部形成部材とを備えており、上記箱状収容部の底板を背板の下端部より上側に配設している。そして、上記箱状収容部の底板の左右両側面からそれぞれ、下方に折り曲げ自在な突片を突設し、上記背板の吊り下げ具を被吊り下げ体に吊り下げる吊り下げ態様と、上記突片を下方に折り曲げこの折り曲げた突片の下端部を被載置面に当接させて本発明の陳列用具を支受する支受態様とのいずれかの態様を選択しうるように構成している。このように、本発明の陳列用具では、これを吊り下げる吊り下げ態様にすることも、上記折り曲げた突片を被載置面に載置してこの突片で支受する支受態様にすることもできるため、1種類の陳列用具を製作するだけでよく、製作費が安価になる。しかも、背板と、この背板とともに箱状収容部を形成する収容部形成部材とを備え、上記箱状収容部の底板の左右両側面からそれぞれ突片を下方に折り曲げ自在に突設しているだけであり、さらに製作費が安価になる。

30

40

【 0 0 0 8 】

本発明において、上記吊り下げ具を、折り曲げ自在な金属製の帯状薄板を用いて作製している場合には、被吊り下げ体の形状に合わせて上記吊り下げ具を折り曲げることにより、各種形状の被吊り下げ体に対して吊り下げ可能となる。

【 0 0 0 9 】

【 発明の実施の形態 】

つぎに、本発明の実施の形態を図面にもとづいて詳しく説明する。

【 0 0 1 0 】

図 1 は本発明の陳列用具の一実施の形態を示している。図において、1 は平板状体からなる紙製の背板である。2 は透明プラスチック製のシート体 3（図 5 参照）を折り曲げてな

50

る折り曲げ体（収容部形成部材）であり、この折り曲げ体 2 と上記背板 1 とで箱状収容部 4 が形成されている。

【0011】

上記背板 1 には、図 2～図 4 に示すように、下端部分に所定間隔をあけて横一直線に配設された 3 つの横向き切り目 6 と、中間部の左右両側部分に配設された左右一对の縦向き切り目 7 とが形成されている。また、上記背板 1 には、その上部の裏面に左右一对のフック 8 が接着固定されている。これら両フック片 8 は、金属製の帯状薄板からなり、上記背板 1 の上部の裏面に接着固定される下側部分 8 a と、所望の湾曲形状（例えば、円弧形状、V 字形状、コ字形状等）に折り曲げうる上側部分 8 b とからなる。

【0012】

上記シート体 3 は、図 5 に示すように、長形状の前板 1 1 と、この前板 1 1 の底面から第 1 折り曲げ線 1 2 を介して延設される長形状の底板 1 3 と、この底板 1 3 の左右両側面から第 2 折り曲げ線 1 4 を介して延設される長形状の支受用突片 1 5 と、上記前板 1 1 の左右両側面から第 3 折り曲げ線 1 6 を介して延設される略台形状の左右両側板 1 7 とを備えており、上記底板 1 3 の底面の所定位置に（上記背板 1 の各横向き切り目 6 に対応する位置）から第 4 折り曲げ線 1 8 を介して 3 つの長形状の第 1 固定用突片 1 9 が延設されている。また、上記右側板 1 7 の右側面および左側板 1 7 の左側面からそれぞれ第 5 折り曲げ線 2 0 を介して第 2 固定用突片 2 1 が延設されている。そして、上記各第 1 固定用突片 1 9 が背板 1 の各横向き切り目 6 に挿通され、上記両第 2 固定用突片 2 1 が背板 1 の両縦向き切り目 7 に挿通される。また、上記第 1～第 5 折り曲げ線 1 2, 1 4, 1 6, 1 8, 2 0 はそれぞれ、上下に折り曲げ自在に形成されている。図において、2 2 は上記両第 5 折り曲げ線 2 0 の下側に形成された切欠き部であり、上記背板 1 の両縦向き切り目 7 の下側部分 7 a に着脱自在に係合される（図 1 0 参照）。

【0013】

上記シート体 3 を折り曲げて折り曲げ体 2 を製作する場合には、前板 1 1 に対して底板 1 3 を後方に直角に折り曲げ、前板 1 1 に対して左右両側板 1 7 を後方に直角に折り曲げる。これにより、図 6～図 8 に示す折り曲げ体 2 を製作することができる。そのうち、この折り曲げ体 2 の各第 1 固定用突片 1 9 を背板 1 の各横向き切り目 6 に挿通し、両第 2 固定用突片 2 1 を背板 1 の両縦向き切り目 7 に挿通し、上記各第 1 固定用突片 1 9 を上方に折り曲げて抜け止め状に固定し、両第 2 固定用突片 2 1 を左右両側方のいずれかに折り曲げて抜け止め状に固定することにより、上記折り曲げ体 2 と背板 1 とで箱状収容部 4 を形成することができる。

【0014】

上記のようにして、背板 1 に箱状収容部 4 を形成したのち、陳列用具を支受態様と吊り下げ態様とのいずれかの態様にするすることができる。すなわち、支受態様にする場合には、図 9 および図 1 0 に示すように、上記折り曲げ体 2 の両支受用突片 1 5 を下方に直角に折り曲げ（図 6 の 2 点鎖線参照）、背板 1 の下端面および両支受用突片 1 5 の下端面を被載置面 2 5 に当接状に載置することを行う。これにより、両支受用突片 1 5 で、背板 1 を略垂直姿勢にした状態で支受することができる。一方、吊り下げ態様にする場合には、図 1 1 に示すように、上記折り曲げ体 2 の両支受用突片 1 5 を上方に直角に折り曲げ（図 6 の 1 点鎖線参照）、背板 1 の両フック 8 を被吊り下げ体 2 6 に吊り下げることを行う。このとき、上記両支受用突片 1 5 で、箱状収容部 4 の底板 1 3 上に載置するボトルタイプの陳列品（図示せず）が底板 1 3 の外側に移動しようとするのを阻止することができる。

【0015】

このように、上記実施の形態では、陳列用具を支受態様にするとも、吊り下げ態様にするともできるため、1 種類の陳列用具を製作するだけでよく、製作費が安価になる。しかも、陳列用具は、背板 1 と、透明プラスチック製のシート体 3 を折り曲げてなる折り曲げ体 2 とで構成されており、この折り曲げ体 2 の底板 1 3 の左右両側面から支受用突片 1 5 を上下に折り曲げ自在に突設しただけの簡単な構造であり、さらに製作費が安価になる。また、輸送時等には、背板 1 から折り曲げ体 2 を取り外し、この折り曲げ体 2 をシート

10

20

30

40

50

体 3 にすることにより、嵩張らなくなる。

【 0 0 1 6 】

なお、上記実施の形態では、折り曲げ体 2 の底板 1 3 にボトルタイプの陳列品を載置しているが、これに限定するものではなく、上記底板 1 3 に孔を開け、この孔に、図 1 2 に示すような口紅等のテスター品（試供品）4 4 を挿通して陳列することもできる。

【 0 0 1 7 】

【 発明の効果 】

以上のように、本発明の陳列用具によれば、これを吊り下げる吊り下げ態様にするとも、上記折り曲げた突片を被載置面に載置してこの突片で支受する支受態様にすることもできるため、1 種類の陳列用具を製作するだけでよく、製作費が安価になる。しかも、背板と、この背板とともに箱状収容部を形成する収容部形成部材とを備え、上記箱状収容部の底板の左右両側面からそれぞれ突片を下方に折り曲げ自在に突設しているだけであり、さらに製作費が安価になる。

10

【 0 0 1 8 】

本発明において、上記吊り下げ具を、折り曲げ自在な金属製の帯状薄板を用いて作製している場合には、被吊り下げ体の形状に合わせて上記吊り下げ具を折り曲げることにより、各種形状の被吊り下げ体に対して吊り下げ可能となる。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 本発明の陳列用具の一実施の形態を示す斜視図である。

【 図 2 】 背板の正面図である。

20

【 図 3 】 上記背板の裏面図である。

【 図 4 】 上記背板の平面図である。

【 図 5 】 シート体の正面図である。

【 図 6 】 折り曲げ体の側面図である。

【 図 7 】 上記折り曲げ体の平面図である。

【 図 8 】 上記折り曲げ体の断面図である。

【 図 9 】 陳列用具の支受態様を示す側面図である。

【 図 1 0 】 上記陳列用具の支受態様を示す断面図である。

【 図 1 1 】 上記陳列用具の吊り下げ態様を示す側面図である。

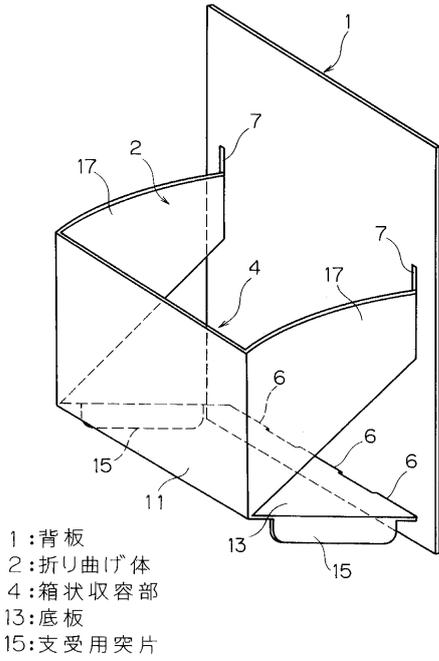
【 図 1 2 】 従来 of 陳列台を示す斜視図である。

30

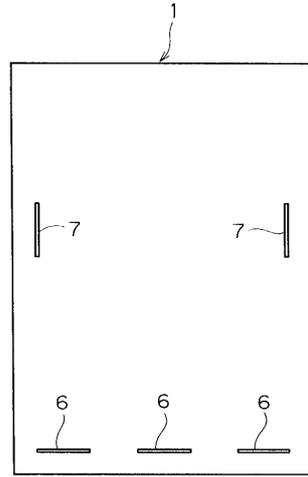
【 符号の説明 】

- 1 背板
- 2 折り曲げ体
- 4 箱状収容部
- 1 3 底板
- 1 5 支受用突片

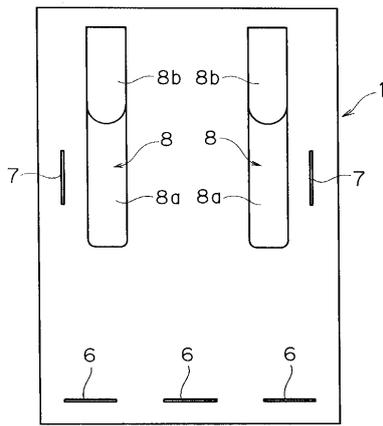
【 図 1 】



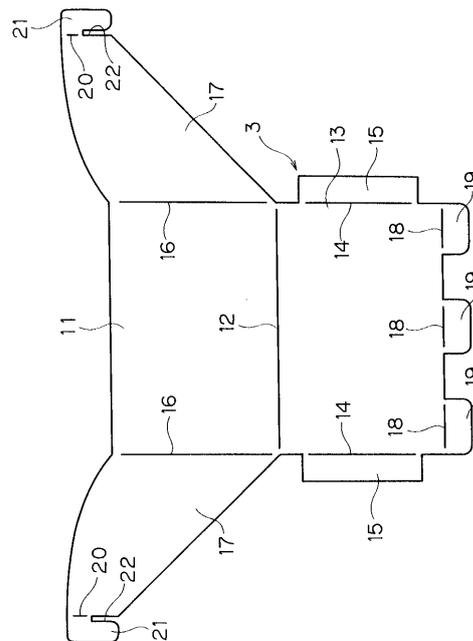
【 図 2 】



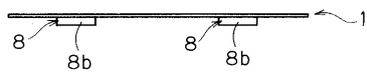
【 図 3 】



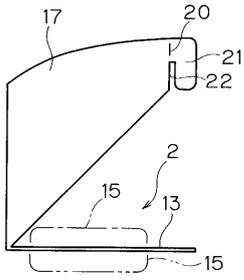
【 図 5 】



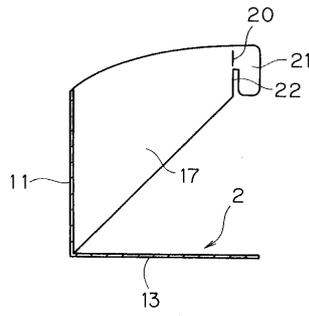
【 図 4 】



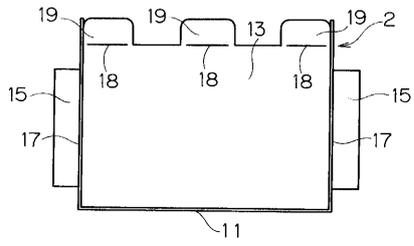
【 図 6 】



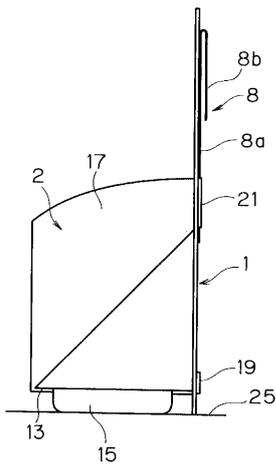
【 図 8 】



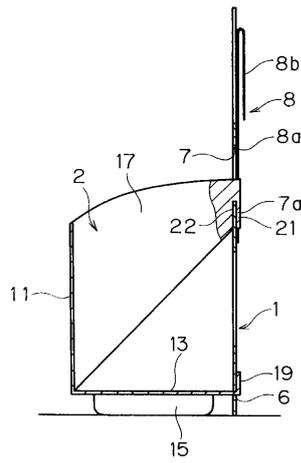
【 図 7 】



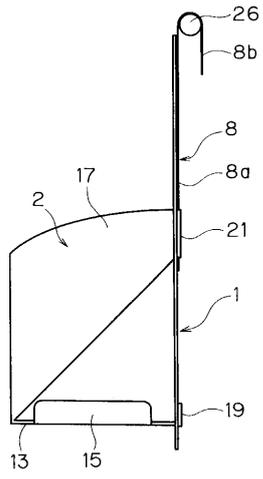
【 図 9 】



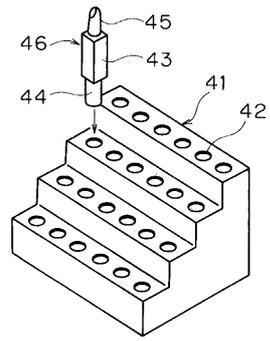
【 図 10 】



【 図 1 1 】



【 図 1 2 】



フロントページの続き

- (56)参考文献 実開平05 - 041467 (JP, U)
実開昭60 - 172577 (JP, U)
実開平04 - 068880 (JP, U)
特開平09 - 309573 (JP, A)
特開2000 - 033936 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)

A47F 5/11
A47F 7/00
B65D 5/52
B65D 81/36